



令和3年度 春号

発行：糸満市立潮平小学校
特別支援教育委員会
Tel：(098)992-2545
特別支援教育担当

この特別支援教育だよりでは、潮平小学校の特別支援教育に関する取り組みをお伝えしていく予定です。全ての子どもが自分らしく、楽しく学べるよう支援の輪を広げていきたいと思っております。一年間、本校の特別支援教育へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

がんばっているのに、うまくできないな



潮平小学校の特別支援教育について

特別支援教育は特別な子どものための特別な教育ではありません。特別支援教育とは、その子の困難さに合った適切な支援や手立てを行うことです。お子さんの生活や学習の様子から何か気になることがありましたら、担任か特別支援教育コーディネーターまでご相談ください。

- 特別支援教育コーディネーターを窓口として学校長を代表とする「特別支援教育委員会」で一人ひとりのお子さんへの適切な支援を検討します。
- 支援の対象となった児童に対して「個別の教育支援計画」の作成または見直しを行い、実態にあわせた支援を行っていきます。
- 保護者との教育相談を通して家庭と学校の連携を図ります。
- 医療や福祉などの専門機関の紹介を行います。
- 職員研修において全職員が特別支援教育について学び、学級経営に生かします。

お知らせ

言葉の遅れや発達の気になる児童の保護者を対象に、糸満市が実施する無料の就学相談会（6/28～30）がございます。詳しく知りたい方、または希望される方は案内や申込用紙をお渡しいたしますので、特別支援教育コーディネーターまでご連絡ください。【申込〆切6/11（金）16時までに学校へ提出】

【お子さんの実態を確認するチェックリスト】

※ このチェックリストは診断のためのチェックではありません。子どもの傾向や特性を知り適切な支援を考
えるためのものです。家庭や学校での子どもの様子から、あてはまるものをチェックしてください。提出
の義務はありませんが、チェックが多く気になる場合は早めに担任までご相談ください。

○あてはまる △わからない ×あてはまらない

観点	内容	○△×
聞く	聞き間違いがよくある	
	個別に言われると聞き取れるが、集団では難しいことが多い	
	指示したことの理解が難しいことがある	
話す	言葉につまることがよくある	
	思いつくままに話し、わかりやすく話すことが苦手	
読む	文中の語句を抜かしたり、くり返し読んでしまうことがある	
	音読がとても遅い	
書く	独特で読みにくい字を書く	
	句読点が抜けたり、正しく句読点を打つことができない	
	作文が苦手で、短い作文や決まったパターンしか書けない	
計算する	学習した数の意味や表し方についての理解が難しい	
	簡単な計算を暗算で解けない	
	計算するのにとても時間がかかる	
推論する	学習した、長さや重さなど量の理解や量の比較をすることが難しい	
	学習した算数の図形を描くことが苦手	
	勘違いがあったり、周りを驚かせるような考えをすることがある	
不注意	気が散りやすく、別のことをすることがある	
	うっかりミスや忘れ物が多い	
	整理・整頓が苦手である	
多動性	じっとしていることが苦手で、動き回ることが多い	
	キョロキョロしたり、そわそわ落ち着かないことがある	
衝動性	順番を待てずに、勝手に列に割り込むことがある	
	自分の考えを押し通すことがある	
	攻撃的な言葉や行動をとることがある (トラブルが多い)	
社会性	友達と仲良くしたい気持ちはあるが、友達関係がうまく築けない	
	友達のそばにいるが、一人で遊んでいることがよくある	
	周りの人が困ってしまうようなことも気にせずと言ってしまう	
	決まりにこだわり過ぎて、友達の行為を大げさに注意したりする	
コミュニケーション	会話が一方的になったり、やりとりが続かなかったりする	
	冗談や皮肉がわからず、言われたままの言葉を受けとってしまう	
	会話の仕方が形式的で単調な声の高さで話したり、間合いがとれない	
興味 こだわり	きまった興味に熱中することがある (昆虫、読書、ゲーム、車など)	
	予定や時間割などの急な変更や変化をいやがったり、怒ったりする	
	とても得意なことがある反面、極端に苦手なことがある	